

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.3, MAY 1986-EKUTEBIAN〉

5



まい あーと・「コアラ」by 高松バッチワーク友の会

日本刀の美

鈍く光る日本刀。その美に惚めた思わしい職人。匠士の魂といわれ、いくたの歳月を越え、一として現代、美鑑賞用として息をかきた。鉄のソリの美しさ。吸い込まれる刃文。日本刀のように揃える刃文。日本刀の持つ時代背景。またえられた地鉄の味わい。直刀の雄力。刀匠が織りなすかすかすの名刀——

日本刀の美しさは開削の良し悪しにかかっているといわれるほどに。トギ除重きを工程をたどる。刃工の表現をくまなく研削する職師の力能。サビ得もはてる刃を文化遺産として次代に継ぐ。正しく美を鑑賞しようと努力する愛刀家たち。鉄の芸術品を提供する古美術商。刀を愛する人も立派な人の到来である。

前編 河田清治さん（鎌町一丁目）
 長子 公岡国宝・小野光敬師の弟子
 として修業を積み、二尊父のあとを継ぐ。三日月、弟子に外人を持つ。



中心(茎)結で刀工を、時代を知り、歴史が手に取るように繰りひろげられる。



道具・踏まえ木、砥石、研き桶等。下地の工合を点検、直しを決めます。



砥石、上部の表すり、刃にそわせるために本体をカマボコ形に延ぐ。粗から細へと研磨がなされ、形が整う。



仕上げの工程、機手すじ切りの道具、及び機手切りの動作。



宝来堂、三上和夫さん（柴崎町二丁目）手に汗にぎり、緊張感ともなっているの味わいです。

豪刀会・大丸組糸川悦範さん（柴崎町2丁目）
 鉄が粘れる、古刀の美しさが得がたいです。

(左) ビスニュー・パトラさん
(右) チャンパ・パトラさん
●インド/立川在住6ヶ月
/富士見町

スーパーなどが便利、街の人が親切、安全! インドでは女性一人で出掛けられないが立川では大丈夫です。

街の人は親切だが、近所の人との交流があまりないのが寂しい。会う機会も少ないですね。



ヘンリック・ビュー
ストロム博士
●スウェーデン/立川
在住1年/錦町

近くに色々な店があって便利。街を歩いて他の外国人によく会うのもうれしい。英語で話しが出来ます。

ほんのちょっと駅に近くなるだけ家賃が高くなる。



ダン・ディールさん
●アメリカ/日本在住5年
/砂川町

店がたくさんあって便利。「歩道」というのは歩きやすい。人間が暖い。ヘルプフル(困った時は助けてくれる)。

駐車場が少ないし、駅の近くでは路上にちょっと停車することも出来ないのが不便です。



外国人が語る Good立川 Bad立川

我が街を愛するのは外国人も同じ。大好きな街なので両方の面がわかる。外国人だから感じる事もあるのです。



人が愛いのに おどろきました

↑神田エリザベスさん
●アメリカ/立川在住3年
/曙町

市民会館や体育館などの施設は料金も安いし楽しめる。家において鳥の鳴き声が聞こえるのには一番感動した。

競輪場が近くにあり、開催日の雰囲気が良い。特にゴミを捨てる人が多いので困る。前は娘と拾った。

李 龍秀さん ●朝鮮
/立川在住30年/高松町

東京都内に近いし、都内より自然が多い。地理的にも良い場所に位置する。

ゴミの処理が悪い。回収日は市内がゴミだらけになって街の美観を損う。



↑パトリック・オシュネーさん
●フランス/立川在住3年/上砂町

生活のスペースが広く持てる。富士山が近くに見える。駅の周辺の道路の混雑は異常。余分な信号が多すぎる。

昭和三十九年公園は開立公園
昭和三十九年公園は開立公園

駐車場が少なく、料金が安いと思いがち



↑神田ナオミさん
●イギリス/立川在住7年/一番町

都会と田舎がうまく調和している。自分の家で野菜を作れるほどの自然もここにはある。

街の行事のインフォメーションが詳しく書かれていないのが不便。

三井の自動つみたて定期預金 三井銀行 立川支店

第6回 わんぱく相撲 立川場所
出場者募集
1歳1年住の56年生
(日時)5月11日 am 10:00 pm 3:00
(場所)昭和三十九年公園
(申し込み)5月3日(土)まで
立川市曙町2-7-3
立川青年会議所
0425(24)2105

「わんぱく相撲」開催
みんなで遊ぼう日曜映画の会
高松パッチワーク友の会

大我楽多市
4月30日(水) - 5月6日(水)
高松パッチワーク友の会

「わんぱく相撲」開催
みんなで遊ぼう日曜映画の会
高松パッチワーク友の会

ふれあい市 盛ん!
立川市立川市立川市

名酒座が閉館した
同劇場は昭和8年より53年間、演劇映画を通じた立川の文化に貢献した。

表紙は語る
「アララ、ぬいぐるみ友の会になっちゃった」と高松パッチワーク友の会

真如苑だより
桜花の頃から本日の春がやってくる

立川クイズ
明治22年に中央線の前身、甲武鉄道が立川と新宿間に開通しましたが、この時に駅は全部でいくつあったでしょうか。

立川・歴史のひとコマ
八幡さまと阿彌陀如来像
鎌倉時代から戦国時代にかけて

34年 手帳
知事 立川市立川市

真如苑だより
桜花の頃から本日の春がやってくる

真如苑だより
桜花の頃から本日の春がやってくる

この八幡さまの本地仏(衆生済度のため神に姿をかえた元の仏)は阿彌陀如来ですが、かつて弘法大師作といわれる六寸ほどの黄金の尊像が祀られていました。

月刊 えくてびあん 第22号
昭和六十一年五月一日 発行
発行所 えくてびあん編集工房
東京都立川市柴崎町2-4-11
フラインビルディング 3F
電話 0425(24)0082

編集人 立井啓介
発行人 沖野嘉男
印刷所 株式会社立川印刷所

工場から
武蔵野には旧くから「逃げ水」とよばれるマボロシの水が棲んでいるそうでありませう。春から夏にかけて、武蔵野に草が茂り風そよぐさまを遠くから見ると、水が流れるように見え、近づくと水の気配もない。

そして火事から三年後、神前の大櫛を植え変えていた村人の歌にカチンとあたるものがあり、行方不明だった仏像が現われて村人を大喜びさせました。銅の仏像と共にこの黄金の仏像も再び拝観に祀られました。この時の歌のあとには今もこの仏像の胸にあるそうです。

ぼくらは、 立川少年消防団



① あこがれのレスキュー隊。② ドウドウの行進。
③ 野外活動、ホッと一息。④ 運動会、防火衣つけます、だれが一等？

ぼくらの将来の夢、レスキュー隊。婦人消防官にあこがれる少女たち。いたずら大好き少年も、いまではノッパにまとめ役。ながよし仲間と防災くんねん。学校のクラブ活動よりも楽しい、とイキイキ笑顔がこぼれます。

⑤ 結案、命ツナこれむずかしのんだ。⑥ 進級入団式、おめでとう。⑦ 社会見学、きょうみシンシン。

